



内灘高だより

令和4年度
第7号
NO. 1



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

全国国民体育大会 いちご一会とちぎ国体 (10/6)



「いちご一会とちぎ国体」の女子チームスプリント決勝で、3年米田千紘(内灘中学)、2年北岡マリア(星稜中学)が、見事全国優勝を果たしました。出場規定が高校生・成人と合同の種目で高校生チームが応援していただいた方々、ありがとうございました。

10月14日に小篠聡校長、顧問の守屋英樹教諭、3年米田千紘、2年北岡マリアが北野教育長を訪問し、国体優勝の報告をしました。



10月22日に「県スポーツ優秀賞」表彰式がおこなわれ、国体優勝を収めた3年米田千紘、2年北岡マリアがいしかわ総合スポーツセンターで表彰を受け、米田千紘が代表として馳知事から賞状を受取りました。



石碑文字塗り入魂イベント (10/4)



平成3年(1991年)第3期卒業記念として、校門そばに石碑が設置されました。31年の月日の間に文字の色が薄れてきたので、10月の創立記念日をきっかけに同窓生と生徒会役員で文字の色塗りを行いました。同窓生は在学中の思い出を語りながら文字の色を塗り、生徒は石碑に刻まれた伝統を守り繋げたいと思いながら塗りました。

防災訓練 (10/19)



全校生徒、教職員で地震・津波を想定した防災訓練を実施し、学校より標高の高い地点の千鳥台第2公園に避難しました。教職員もアクションカードを用いて、本部班、避難誘導班、救護班と役割分担をして迅速に対応しました。

防災チャレンジ活動



石川県災害ボランティア協会(水戸会長)のご指導を受け、学年ごとに防災チャレンジ活動をおこないました。1年は新聞紙スリッパと食器・段ボールベッドを作り、2年は自らがボランティアの役をして災害ボランティアセンターを模擬体験しました。3年は非常食と新聞紙食器作りをし、炊飯器なしで作ったおにぎりをみんなで食べました。災害時の正しい知識を学び、どのような行動をすれば良いかをみんなで考える良い機会となりました。

1年内灘町商工会企業見学会 (10/12)



内灘町商工会の8企業様にご協力頂き、実際の各職種の仕事の現場に触れたり、職業の体験をしたりすることができました。生徒たちも熱心にメモを取り、質問をし、真剣な様子でお話を聞いていました。今後、将来の進路を考えていくにあたり、地元の魅力的な企業を知ることはとても重要です。今日学んだ内容を後日、レポートにまとめて今後活かしていきます。

石川県高等学校文化連盟文化教室 狭間美帆 m_big band

文化教室50周年を記念して「狭間美帆 m_big band」の演奏によるJAZZを鑑賞しました。『FlyHigh!』『猿鬼伝説メインテーマ』や『ディズニーメドレー』などの演奏は初めて生でJAZZを聴く生徒達にとってとても刺激になりました。狭間さんのJAZZの歴史、魅力、そして夢についてのトークや生徒が演奏者にあわせての手拍子で参加するなどとても楽しい時間を過ごしました。





内灘高だより

令和4年度
第7号
NO. 2



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

大学生による「食育授業」(10/18, 20)

本校生徒の生活アンケートで「朝食を食べない」と回答した生徒がとて多くいました。朝食をとらないと脳にエネルギーが供給されないため、イライラを感じたり、勉強や部活動に集中力ができなかったりと1日の達成感の低下につながると思います。今回は「食」の専門知識を学んでいる金沢大学の学生が、自らの経験を活かし、生徒に正しい食生活への意識向上のために授業をしていただきました。生徒は「食事の栄養バランスはお皿の数じゃない」「中食する」「ファイブ・ア・デイ」など「食」への意識を高めていました。



後期生徒会役員選挙 (10/26)

後期生徒会役員選挙立会演説会がおこなわれました。立候補者7名は全校生徒の前で、後期役員としての抱負を熱く語りました。その後の投票結果で、全員が過半数を大きく超える票を獲得し当選しました。



書記:2年 上田勇煌	書記:1年 山田怜奈	会計:1年 恒吉 樹	会計:2年 吉田竜也
副会長:2年 水瀧龍成	会長:2年 宮本 碧	副会長:1年 岩崎雅也	

内高祭チケット前売り~! (10/28)

11月3日(木)内高祭2日目におこなわれる各クラスの模擬店の商品を、一人ひとりが事前に予約しました。28日は、予約したリストをもとに予約商品のチケットと現金が交換されました。



先輩訪問



虎間 祐子 (旧姓:上野) (平成13年度卒業 第18期)
美容室 BR オーナー スタイルスト(金沢市丸の内6-7)

小学生の頃から美容師になりたいと思っていました。きっかけは、美容院をしている母を見て、「人をきれいにする仕事っていいな」「どんなに疲れていても笑顔で仕事をしているお母さんっていいな」と思っていたからです。

ただ、3人の子育てをしながら、仕事と家庭を両立して頑張る母を見てとても大変そうだな、自分には無理かな、と悩んだ時期もありました。

しかし、高校2年の時に初めて行った金沢の美容院は、店内の雰囲気、スタッフの言葉遣い、接客対応など全てが夢の世界に来たようで、その瞬間に悩んでいたことも消え、絶対に美容師になりたいと強く思い夢を叶えました。

美容師になると将来は自分のお店を持ちたいと次の目標ができ、実現の為に、ナンブ美容室、CIARTORで美容師として経験を積み、技術、接客、経営などを勉強させていただきました。その間、結婚、出産、子育てがあり、毎日の生活に追われて“独立”という目標も消えかけたこともありますが、主人、両親、義母に支えられて今年1月に金沢城お堀近くの素敵な街に念願の店を持ちました。

今は、9歳と5歳の男の子の子育てに悪戦苦闘しながら、同居する義母や主人に助けをもらいながら仕事をしています。美容師のやりがいは、お客様を綺麗にして喜ばれたとき、お客様との出会い、その出会いから輪が広がるのが魅力です。今後は、地域の方々にも愛されるような店づくりに力を入れ、地域の活性化、後輩美容師の育成、BRの発展と家庭との両立に頑張っていきたいと思っています。

